

**製品名: Rpb1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21285**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:192kD;Observed MW:250kD

**抗原情報**

遺伝子名	POLR2A POLR2A;POLR2;DNA-directed RNA polymerase II subunit RPB1;RNA polymerase II subunit
別名	B1;DNA-directed RNA polymerase II subunit A;DNA-directed RNA polymerase III largest subunit;RNA-directed RNA polymerase II subunit RPB1
遺伝子 ID	5430.0
SwissProt ID	P24928
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

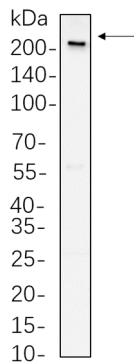
**背景**

細胞局在: 核。この遺伝子は、真核生物においてメッセンジャー RNA の合成を担うポリメラーゼである RNA ポリメラーゼ II の最大サブユニットをコードしている。この遺伝子産物は、ポリメラーゼ活性に必須のヘプタペプチドリピートからなるカルボキシ末端ドメインを含む。これらのリピートには、RNA ポリメラーゼの活性転写時にリン酸化されるセリンおよびスレオニン残基が含まれる。さらに、このサブユニットは、他のいくつかのポリメラーゼサブユニットと結合して、ポリメラーゼの DNA 結合ドメイン、すなわち DNA テンプレートが RNA に転写される溝を形成する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



A549 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Rpb1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。